

事項	大豆のアブラムシ類に対するチアメトキサム水和剤（クルーザーFS30）の乾燥種子塗沫処理による防除法		
ねらい	大豆のジャガイモヒゲナガアブラムシの発生は、それが媒介するダイズわい化病の発生と相まって大豆の安定生産を図る上で大きな阻害要因となっている。そこで、大豆乾燥種子に対するチアメトキサム水和剤（クルーザーFS30）の大豆乾燥種子塗沫処理によるジャガイモヒゲナガアブラムシの発生抑制を検討したところ、高い効果が認められたので参考に供する。		
指導 参考 内容	<p>1 チアメトキサム水和剤の使用方法  (1) 播種前に大豆乾燥種子 1 kg 当たり原液 6 ml を塗沫処理し、薬剤の乾燥後播種する。</p> <p>2 大豆のジャガイモヒゲナガアブラムシの発生抑制効果が高く、省力的である。結果としてダイズわい化病の発病抑制効果も高い。</p> <p>3 チアメトキサム水和剤の農薬登録内容  (1) 薬剤名等  ア 一般名 : チアメトキサム水和剤  イ 商品名 : クルーザーFS30  ウ 有効成分 : チアメトキサム 30.0%  エ 人畜毒性 : 普通物  オ 魚毒性 : A類  (2) 使用基準  ア 登録年月 : 平成16年11月  イ 適用害虫 : アブラムシ類  ウ 使用量 : 乾燥種子 1 kg 当たり原液 6 ml  エ 使用方法 : 塗沫処理。  オ 使用時期 : 播種前  カ 使用回数 : 1回  キ 総使用回数 : チアメトキサムを含む農薬 3回  (播種前の塗沫処理は1回以内、播種後は2回以内)</p>		
期待される効果	大豆の安定生産に寄与する。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成19年3月1日現在の登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(<a href="http://www.maff.go.jp/nouyaku/">http://www.maff.go.jp/nouyaku/</a>)を確認すること。</p> <p>3 薬剤が種子に均一に付着するように処理する。</p>		
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センター畑作園芸試験場 病虫害防除室 (石谷正博、新藤潤一) 農林総合研究センター 病虫害防除室 (木村勇司)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成18年度 青森県農林総合研究センター畑作園芸試験場成績概要集 平成18年度 青森県農林総合研究センター成績概要集		

【根拠となった主要な試験成績】

表1 大豆のジャガイモヒゲナガアブラムシに対するクルーザーFS30 種子塗沫処理の防除効果とダイズわい化病の発生  
(平成18年 青森農林総研畑園試)

供試薬剤名	処理方法及び量	10株当たり寄生虫数			ダイズわい化病		薬害
		6月22日(播種35日後)			発病株率(%)	発病度	
		有翅	無翅	合計			
クルーザーFS30	乾燥種子1kg当たり6ml塗沫処理	0.3	0	0.3 (2.9)	6.2 (25.3)	2.7 (15.5)	無し
ダイトン粒剤	4kg/10a植溝土壌混和	0.1	2.6	2.7 (26.0)	11.2 (45.7)	5.1 (29.3)	無し
無処理	—	0.9	9.5	10.4 (100)	24.5 (100)	17.4 (100)	

(注) 試験場所：六戸町犬落瀬(畑園試圃場)、品種：おおすず。播種月日：平成18年5月18日。( ) 内数値は密度指数または対無処理比。

ダイズわい化病の発病程度別指数及び発病度

発病程度 A：主茎が枯れず、莢無し、B：主茎が枯れず、莢数1～5個、C：主茎が枯れず、莢数6～10個  
 発病度 = (Aの株数×3+Bの株数×2+Cの株数) × 100 ÷ (調査株数×3)

表2 大豆のジャガイモヒゲナガアブラムシに対するクルーザーFS30 種子塗沫処理の防除効果とダイズわい化病の発生  
(平成18年 青森農林総研)

供試薬剤名	処理量及び方法	50株当たり寄生虫数または被害株率						ダイズわい化発病度	薬害	
		播種29日後(6/28)				播種40日後(7/10)				
		有翅	無翅	合計	被害株率(%)	有翅	無翅			合計
クルーザーFS30	乾燥種子1kg当たり6ml塗沫処理	0.7	0.0	0.7	8.0 (8.0)	0.3	0.3	0.6 (1.4)	0	無し
ダイトン粒剤	4kg/10a植溝土壌混和	0.0	0.3	0.3	32.7 (32.7)	0.7	0.3	1.0 (2.3)	0	無し
無処理	—	4.3	43.0	47.3	100 (100)	6.0	38.3	44.3 (100)	0.75	

(注) 試験場所：黒石市境松(農林総研圃場)、品種：おおすず。播種月日：平成18年5月30日。被害株率は明かな吸汁痕のある株を被害株として被害株率を算出。( ) 内数値は密度指数または対無処理比。

ダイズわい化病の発病程度別指数及び発病度

発病程度 A：株全体が萎縮、わい化し、莢がほとんど無し、B：縮葉、わい化症状を呈し、わずかに稔実莢がみられる、C：縮葉、わい化症状を呈すが、軽微で、稔実莢がかなりみられる、D：症状は極めて軽い。  
 発病度 = (Aの株数×4+Bの株数×3+Cの株数×2+Dの株数) × 100 ÷ (調査株数×3)

表3 大豆のジャガイモヒゲナガアブラムシに対するクルーザーFS30種子塗沫処理の防除効果 (平成18年 青森県植防)

供試薬剤名	処理方法及び量	10株当たり寄生虫数								薬害
		7月5日(は種21日後)				7月12日(は種28日後)				
		有翅	無翅	幼虫	合計	有翅	無翅	幼虫	合計	
クルーザーFS30	乾燥種子1kg当たり6ml塗沫	1.0	0.3	0	1.3 (6.8)	1.0	0	0	1.0 (6.1)	無し
無処理	—	3.3	1.7	14.7	19.7 (100)	1.7	4.0	10.7	16.3 (100)	無し

(注) 試験場所：黒石市小屋敷(現地農家圃場)、品種：おおすず。播種月日：平成18年6月14日。

( ) 内数値は対無処理比。

(参考)

価格：9,500円/250ml、播種量6kg/10aとして1,340円